

学園だより

No.47
平成30年6月

発行
広島県立広島学園
東広島市八本松町原 10844
電話(082)429-0351



「広島学園に異動して感じたこと」

自立支援課長 中林 一文

「おはようございます。」

多目的室で行われる生徒朝会が始まる際に、職員が入れ代わり立ち代わり室に入ると、子ども達が我先に一礼を行い、口々に挨拶をします。生徒朝会が始まると、職員が声掛けをします。

「一同、礼。」
私が礼をしようと思うと、子ども達は、

「よろしく、おねがいします。」
と、まず声を出します。その後に一礼をして、会が始まります。

5年ぶりに、広島学園に勤務となりましたが、挨拶の徹底に驚かされました。そして、授業が始まります。

広島学園に東広島市立もみじ小学校・中学校が併設されて4年目ですが、子ども達の授業への取り組み姿勢の良さに今度は驚かされました。

午前中の授業が終わると、学校職員と子ども達が一緒に掃除を行います。教室の掃除はもとより、階段の雑巾がけなどもてきぱき行っており、掃除に対する姿勢の良さにも驚かされました。

広島学園の寮職員と、もみじ小学校・中学校教職員との引き継ぎは、朝会・暮会の2回行われています。

この引き継ぎだけではなく、気になったことは寮職員と教職員がすぐに話し合える状況になっています。

このように、久しぶりに広島学園に戻ってきた私は、その間にあった学校教育導入の成果を感じる日々を過ごしています。

もちろん、子ども達が職員に反発したり、助言を素直に受け入れなかったりすることはありますし、子ども同士のいざごももあります。職員が指導方法を向上させていく必要も感じております。しかし、広島学園の伝統としての、礼儀・マナー・

あいさつは、もみじ小学校・中学校にも引き継がれ、さらには進化の過程にあると感じています。

最後になりますが、広島学園は「愛と誠」を園訓として掲げています。

子ども達がこの心を忘れることがないような生活を送れるように、私もサポートしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。

行事・活動の報告

◆劇団あらむ

「迷走寸劇家族(めいそうちよつとだけかぞく)」を観劇(四月十五日)

安芸津生涯学習センターのあきつ万葉ホールにて、劇団あらむの春公演がありました。学園を支援していただいている劇団メンバーの方からの招待で、女兒が観劇させてもらいました。「迷って迷ってつまずいて、絡まった心の中で自分らしく生きる。そのための『道しるべ』を見つけたい。』」という劇の内容であったので、参加児童はとても共感し、自分のこととして受け止め、一喜一憂しながら劇に魅了されました。

◆更生保護女性会八本松支部の方との花の植替え(五月十日)

総合的な学習の時間に、更生保護女性会の方と用意してもらった花の苗をプランターに定植しました。苗を植えながらですが、女性会の方との交流もできました。学園生は、自分が植えた苗に花が咲くのを楽しみにしながら毎日手入れをしています。

◆福祉体験学習(五月十七日)

広島縮景園で県立広島中央特別支援学校の児童・生徒さんが梅の実を収穫するのを、学園の児童がサポートする交流を三十七年行っています。その事前学習として、東広島市社会福祉協議会に依頼し、視覚障害についての学習とアイマスク体験を行いました。また、視覚障害の当事者の方からも、お話を聞く機会も作っていただきました。

◆園内梅の実収穫

(五月二十四日)

二人一組のペアになり、一人は目隠しをし、もう一人がサポートしながら実際に梅の実を収穫する

ようにしていきたいです。

縮景園での活動を通して学んだことは、優しい言葉でコミュニケーションをとると相手も良い表情だったので、優しい言葉をかけることは大切だと学びました。生活に生かしていきたいことは、優しい言葉を常に意識して周りに声掛けしていき、野球にも生かしていきたいです。



広島中央特別支援学校の皆さんへ

中三 男子

今日は一緒に梅の実を収穫してください、ありがとうございます。雨だったけど、少しだけ一緒に梅の実の収穫ができてよかったです。僕とペアになった子は、たぶん目が

見えていなかったもので、上手く誘導できるか不安がいっぱいでした。自分なりに優しく声をかけるように努力したら、ペアになった子が喜んでくれたので嬉しかったです。僕は、とてもガチガチで、何を言っても話したかあまり覚えていません。優しくできたか不安ですが、どうだったでしょうか。

今回、目が見えない方と交流をして、初めは「梅の実が見えなくて、大変じゃないか」「自分だったら、どう思うだろう」と思って、相手も思いやる気持ちがあんなものなのか、少しわかった気がしました。広島中央特別支援学校の皆さんは、僕らより礼儀も敬語も上手だったのですごいと思いました。僕も皆さんみたいに、コミュニケーションが上手になりたいと思いました。ありがとうございます。

中一 女子

今日は一緒に梅の実収穫体験をさせてください、ありがとうございます。私は、今日のために色々な勉強をしました。まずは、目が見えない方のお話を聞いて、目が不自由な方はどう思っているのかを学びまし

た。次に、実際にアイマスクをつけて目が見えない状態にして歩いたり、サポートして、目が見えないとどう感じるのかを学びました。その後、学園にある梅の実を収穫するときにも、目隠した人をサポートしました。このように、今日のために目が不自由な方とどう接するのか、サポートするのかを学ぶことができました。

しかし、実際今日やってみると、初めてお会いするということもあり、声をかけることが積極的に行きませんでした。それに、教えてもらったクロックポジションも使うことができませんでした。でも、ペアの生徒さんが話しかけてくれたり、腕を引っ張ってくれたので嬉しかったです。短い時間だったけど、一緒に梅の実の収穫をした時間は楽しかったです。すごく良い体験になりました。今日は、ありがとうございます。

地域一斉清掃に参加して

中二 男子

ごみ拾いをするのは大変だし、正直嫌でした。でも、ごみ拾いをしていく中で、車に乗っている人に挨拶したら笑顔で返してくれたら、地域の人と協力してやっていると

嬉しくて、大変だけど頑張ろうと思えました。そしてごみを見落とさないように見て、一生懸命にすることができました。スタートからゴールまで、集中して拾うこともできました。たばこやペットボトルがたくさん落ちていて、「何でポイ捨てるのかな」と思いました。でも、僕も学園に入る前はポイ捨てしていました。だけど、今回ボランティア活動をして、ポイ捨てが周りの人に迷惑をかけることを学びました。僕も飲んだペットボトルや缶などは、持ち帰ったりごみ箱に捨て、地域の人に迷惑をかけないようにしたいです。



《ホームページ》

広島県のホームページの中に、「県立広島学園」のページがあります。支援者の方との交流や学園の行事の様子などを掲載していますので、ぜひご覧下さい。

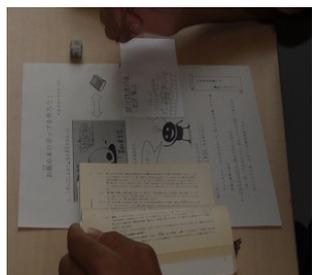
(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/sfsi/hiroshimagakuen/>)

読み語り・ポップ作り お礼文

中一 男子

今日は、読み語りやポップ作りをしていただき、ありがとうございます。読み語りでは、手品をしてくださいましたのでとてもびっくりしました。

また、本の内容を覚えてお話しされたことにも驚き、とてもすごいなと思いました。次は、ポップ作りでした。僕は、初めての参加でした。とても分かりやすく説明をしてもらったので、ポップが綺麗にできて嬉しかったです。僕は、文を考えて書くのは苦手なので、ちょっと文がぎこちなかったです。でも、絵は綺麗に書けました。食堂で他の人のポップを見ていたとき、僕の作ったポップを見た人が綺麗だと言ってくれてとても嬉しかったです。これからの生活を頑張るので、応援をよろしくお願いします。今日は、本当にありがとうございました。また新しいお話を聞かせてください。



中三 男子

今回は、僕たちのために読み語りをして下さったり、ポップ作りにも協力して下さり、ありがとうございます。読み語りでは、聞いたことのないお話で、面白かったです。

ポップ作りでは、僕は「銀河鉄道の夜」を選び、アドバイスをしてもらいながらポップを完成させることができました。僕はあまり本に興味がなかったけど、今回の読み語りやポップ作りで少し興味が湧いてきました。今回は、僕たちのために来て下さり、ありがとうございました。

視覚障害の当事者の方からのお話を聞いて

中三 男子

今日、初めてアイマスク体験学習で、視覚障害の当事者の方からのお話を聞きました。突然目が見えなくなったと聞いて、僕の身にも突然起これば、大きなショックを受けると思いました。しかし、視覚障害になった方はとても前向きで、インタビュウの中でも「ひとつも困難はないですよ。」と笑顔で言われるのを見て勇気もらいました。これから先、大きな困難があっても逃げずに立ち向かっていこうと思います。本当に

ありがとうございました。



中三 女子

今回は、私たちのために貴重な時間を取って下さりありがとうございます。私が質問をさせてもらったときに、ひとつひとつ分かりやすく答えて下さりありがとうございました。お話を聞いたり、実際にアイマスク体験をして、人との信頼は大切であることを改めて感じました。今回のお話で、私は障害福祉関係のヘルパーさんになりたい、という夢を持つことができました。本日は、本当にありがとうございました。私も夢に向かって、これからしっかりとした生活をしていきます。

園内梅の実収穫と、縮景園での活動で学んだこと

小六 男子

目が不自由な時の怖さや、声をかけてくれないと不安で、ペアの人が声をかけてくれると安心するので、縮景園でもしっかりと声をかけて、安心するようにしてあげ、怪我など

が無いようにします。そして、最後まで楽しく梅の実の収穫ができるようにします。

縮景園での活動で学んだことを今後の生活にどう生かすかでは、ペアの人に優しく分かりやすく接すことで相手が安心して任せてくれることを学びました。今後の生活では、他の寮生が困っている時には、優しく接するようにします。また、学園に入所してから分からないことや、十分にできないことがあったとき、中学生が優しく教えてくれることに感謝し、何事もテキパキできるように頑張っていきます。



中三 男子

活動を通して思ったことは、足場が不安定だと歩く方が不安になるし、枝が目の前にあつたら目を怪我するかもしれないから、しっかりと呼びかけや、「何時の方向に梅があります。」などを具体的に言っていたいです。また、不安にさせない

体験を行いました。戸惑いながらも、声掛けの言葉を模索しながら梅の実を収穫していました。収穫した梅の実で、梅ジュースをつくりました。

◆縮景園での梅の実収穫行事

(五月二十九日)

雨天のため県立美術館内で開会行事を行い、県立美術館の特別展(ポストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち)と常設展の作品をじっくり時間をかけて鑑賞したあと、手で触れる彫刻作品と埋蔵物品(石包丁、銅鏡、銅矛など)に触れたり説明を受けました。美術作品等の鑑賞後に雨が上がったので、県立広島中央特別支援学校の児童生徒の方とペアになり梅の実の収穫を短時間行いました。梅の木の葉についていた雨水が落ちてくることもありましたが、みんな楽しみながら梅の実を収穫しました。学園生は、事前に学習していたので、ペアになった支援学校の児童生徒と積極的に関わっていました。

この行事では、広島平和ライオンズクラブから、毎回、送迎バスやお弁当などの支援をうけています。



◆読み語り・ポップ作り

(六月三日)

県立図書館事業課長の正井さんと岡田司書さん、そして読み語りボランティア二人の方が来園されました。ボランティアの方の朗読に聞き入ったり、自分が気に入った本のポップ作りに取り組みました。

◆地域一斉清掃(六月十日)

地域の方と一緒に、道路のごみを拾いました。沢山のごみが落ちていたことに、子供たちは驚いていました。

◆原籍校連絡協議会(六月二十七日)

学園の取り組みやもみじ小学校・中学校での取り組みを原籍校の先生方に理解を一層深めてもらい、併せて児童・生徒一人一人の今後の処遇や進路などについて協議しています。

児童作文

劇団あらむ

「迷走寸劇家族(めいそうちゅっとだけかぞく)」を観劇して

中二 女子

劇に招待してくださりありがとうございます

ございました。今日、劇を生れて初めて観ました。とても恰好いいな、と思いました。テレビで見るとなドラマや映画とはまた違う、迫力のある演技を実際に見ることが、すごく面白いと感じました。台詞の中に「私が全て悪いんだ」ということがありましたが、私も、「私が全て悪いんだ」という思いを実際に抱えています。何をするのにも失敗するのが怖くて、挑戦することから逃げ続けてきていました。けれど、今日の公演を観劇してみて、「別に全て私が悪いわけではないんだ」ということに気付かされました。今まで「生きる」とことや「死ぬ」ということをあまり考えてこなかった私でしたが、「生きる」ということの本当の意味について考えることができました。これから生活をしていく上で、「生まれてきたことに感謝」をし、「家族」と「生きる」ということを大切にしていこうと思っています。自分一人で抱え込まないで、自分の思いは伝えていこうと思います。今日は、本当にありがとうございます



中三 女子
本日は、私たちを招待して下さいありがとうございます。私は、今まで一度しか劇を見たことがありません。その時に「劇は面白いな。もう一度見たいな。」と思っていました。そして今日、劇団あらむ公演の「迷走寸劇家族」を観劇することができました。観劇する中で、面白くて笑ったり、悲しくて涙を流したりと、自分の中でもたくさん感情が起きました。この登場人物の過去は、私のようだと思ったり、この登場人物の性格は、私と同じような部分があるなと思いました。一つ一つの出来事に、私の心が揺り動かされました。
四人の協力や、ぶつかりながらも助け合っていく姿。一人一人の辛かったこと、上手くいかなかったこと、全てが私の心に響き、そして残りました。一人一人の台詞に心を打たれたり、動かされたりもしました。劇の内容はすごく深いもので、私は見入っていました。「劇って本当に良いものだな。」と、改めて思いました。
本当にありがとうございました。